

令和 6 年千葉市教育委員会会議
第 1 2 回定例会会議録

千葉市教育委員会

令和6年千葉市教育委員会会議第12回定例会会議録

日時 令和6年12月18日（水）

午後2時00分開会

午後2時14分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員	教 育 長	鶴岡 克彦
	委 員	小西 朱見
	委 員	大山 尋美
	委 員	大濱 洋一
	委 員	磯邊 聡

出席職員	教 育 次 長	秋幡 浩明	学 事 課 長	長谷川 信
	教 育 総 務 部 長	香取 徹哉	教 育 指 導 課 長	八斗 孝之
	生 涯 学 習 部 長	齋木久美子	教 育 支 援 課 長	保田 裕介
	学校教育部参事（教育改革推進課長事務取扱）	松田 昌幸	保 健 体 育 課 長	太刀川 裕
	中 央 図 書 館 長	佐久間仁央	教 育 セ ン タ ー 所 長	細川 義文
	総 務 課 長	山田 利雄	養 護 教 育 セ ン タ ー 所 長	小谷 泰也
	企 画 課 長	望月 宏次	文 化 財 課 長	君塚 常行
	教 育 職 員 課 長	川島 政美	総 務 課 総 括 主 幹	酒井名菜子
	教 育 給 与 課 長	吉野 嘉人	総 務 課 長 補 佐	金井 拓也
	学 校 施 設 課 長	堀 明徳		

書 記	総務課総務班主査	猪飼 恭平	総務課主任主事	小坂 由希
-----	----------	-------	---------	-------

- 1 開会
教育長より開会を宣言
- 2 会議の成立
過半数の委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
鶴岡教育長より大濱委員を指名
- 4 会期の決定
令和6年12月18日（1日間）とすることで全委員異議なく決定
- 5 会議録の承認
令和6年第8回定例会、第9回定例会会議録を全委員異議なく承認
- 6 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定

7 議事の概要

(1) 報告事項

報告事項(1) 令和6年4回千葉市議会定例会について

山田総務課長より報告があった。

報告事項(2) 令和6年度研究指定校研究報告会について

八斗教育指導課長より報告があった。

(2) 発言の要旨

報告事項(1) 令和6年4回千葉市議会定例会について

鶴岡教育長 報告事項(1)「令和6年第4回千葉市議会定例会について」、
総務課長、説明をお願いします。

山田総務課長 報告事項(1)「令和6年第4回千葉市議会定例会について」
報告します。

議案書の1ページをご覧ください。

初めに、「1 会期」ですが、今定例会は、11月26日から
12月13日までの会期で、議案質疑、教育未来委員会、代表質
問、一般質問などが行われました。

次に、「2 提出議案等の審議状況」ですが、(1)～(4)に
ついては、教育未来委員会の審査を経て、12月13日の本会議
において可決されました。

次に、「3 議案質疑・代表質問・一般質問」ですが、まず、
「(1) 議案質疑」についてですが、議案質疑を行った1人が教
育委員会に関する質疑を行いました。

次に、「(2) 代表質問」ですが、代表質問を行った4会派全て

が教育委員会に関する質問を行い、市長、大木副市長及び教育長が答弁をしました。主な質問の内容は記載のとおりです。

議案書2ページをご覧ください。

最後に、「(3) 一般質問」ですが、一般質問を行った26人のうち14人が教育委員会に関する質問を行い、教育次長が答弁をしました。主な質問の内容は記載のとおりです。

令和6年第4回千葉市議会定例会についての報告は以上です。

鶴岡教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かありますか。

報告事項(2) 令和6年度研究指定校研究報告会について

鶴岡教育長 報告事項(2)「令和6年度研究指定校研究報告会について」、教育指導課長、説明をお願いします。

八斗教育指導課長 「令和6年度研究指定校研究報告会について」報告します。

議案書3ページをご覧ください。

教育委員会では、毎年、本市の教育課題及び学校教育の課題解明を目的として研究校を指定しています。指定された課題や各学校が設定する研究主題の調査・研究を進め、その成果をもって、本市教育の充実を目指しているところです。今年度は18校を研究指定校に定め、2年目の学校8校のうち、5校が報告会を実施し、成果を報告しました。

各校の研究主題及び報告会の概要につきましては資料をご覧ください。

源小学校は、「自分の考えをもち、学び合う児童の育成」を目指し、「児童が主体的に課題に取り組み、考えをもつための工夫」など3つの視点を設定し、その視点をもとに授業実践に取り組みました。

真砂西小学校は、自分の「つよみ」に自信を深めたり、友達のよさやなりたい自分の姿をイメージしたりすることで、自分の「つよみ」を実感し、生かすことのできるキャリア教育の研究を行いました。

平山小学校は、「自らつながり考えをもつ工夫」と「友達とつながり考えを広げたり深めたりする工夫」の2つの視点を中心に、「『わかる』『できる』を実感し、主体的に学ぶ子どもの育成」を目指して算数の研究を行いました。

あやめ台小学校は、「環境の安心感」「チームワークの中にある安心感」「関わりの中にある安心感」の3つの視点で、ユニバ

ーサルデザインの考え方を取り入れながら、「互いに認め合い、生き生きと学ぶ子どもの育成」を目指しました。

高浜第一小学校は、これまで行ってきた日本語指導や、国際理解につながる実践が更に充実するよう整理をしながら、「多様な文化・価値観をもつ人々と共生できる子どもの育成」を目指した研究を行いました。

どの報告会においても、このような研究に取り組んできた姿を具現化する授業や研究発表が行われました。また、研究協議会が実施された報告会においては、参加者が自らの疑問や自校の課題を伝えるなど、活発に協議する姿が見られました。

今後はこれらの研究成果をさらに広く市内の学校で共有して参ります。

研究指定校の報告会に御出席いただいた教育委員の皆様方、ありがとうございました。

鶴岡教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かありますか。

大山委員 ご説明ありがとうございました。今回の報告会は5校でしたが、大変申し訳なかったのですが、私は1校しか訪問できませんでした。あやめ台小学校に訪問し、特別支援教育ということで、ユニバーサルデザインに対しての考え方が2年間通して統一してできていたのかなと思いました。教室の中の黒板の前に余計なものを一切置かないという、それが本当に統一されておりまして、全教室同じようになっていました。授業中に子どもたちが、黒板の他に目がいかないというのは大変重要なことなんだなと改めて感じました。教育センターの方や、一緒に指導してくださった先生方含めまして今回関わった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

小西委員 大山委員と似たような感想になるのですが、私は源小学校とあやめ台小学校に伺わせていただきました。源小学校の方はICTを非常にうまく使っているなと感心いたしました。あやめ台小学校の方なのですが、記念講演の中で非常に学びが多く、実際に発達障害と認定されていなくても注意欠陥であったり、特別な配慮を必要とする子というのはたくさんいて、保護者の方もどう対応したらいいのか子育ての中で悩まれることがすごく多いかと思うのですが、保護者に対してもとても良いアドバイスがたくさんあったので、ぜひ教職員間だけではなくて学校から保護者の方に、記念講演の内容についても共有をしていただ

けると非常に良いのかなと思いました。以上です。

鶴岡教育長 私もいくつか参加しましたので、報告したいと思います。

源小学校については、「個の学習」と「協働的な学習」がうまくマッチングできるよう、今、小西委員がおっしゃったように、ICTを非常にうまく使っていました。授業は、国語の授業なのですが、国語の授業というのは、あまりICTを使う傾向にない、そういった教科かと思われがちなのですが、逆に、ICTをうまく活用しながら、表現豊かに考えなどをアピールする、そういった授業で、子どもたちの姿勢がとても良い授業だったなという印象を持っております。

2つ目の真砂西小学校については、キャリア教育なのですが、これを目標設定や課題設定する時、だいたい苦手なことを意識して、苦手なものを改善しよう、克服しようということが風潮としてありうるのですが、そうではなく逆に自己肯定感を伸ばしたいというところを学校全体で考え、子どもたちの「つよみ」を伸ばしていこうというものでした。その「つよみ」を、教員が伸ばすのではなく、子どもたち同士で話し合いをしたり、考え合ったりしながら、そういったことを表現しあって「どうしたらいいのか」ということを、最終的な解決案のようなものを出す、そのような、会話ではなくて対話を大事にした授業をしていたのが非常に印象的でありました。

平山小学校は算数を、特別支援学級を含めた全ての学級で取り組んだのですが、算数は、見方、考え方で本当に幅広く勉強できるのだなと感じました。算数は「何のために勉強するの、将来生きるの」ということを言われることもあるのですが、本当に将来の生活に生かせるような、そういった算数学習、「こういう学習をすると算数が好きになるな、どんどんやりたくなるな」という授業が展開されていたのが、とても印象的でありました。

私はこの3校に参加をしたので、3校の感想を言わせていただきました。

また、高浜第一小学校の国際理解教育なのですが、外国にルーツを持つ子たちが半数以上の学校なので、この国際理解教育というところを、子どもたち同士でグループディスカッションをしながら、自分をどう表現していくのか、特に日本語指導に長けている教員がこの学校にはおまして、多くの教職員が参観に来て、その授業を本当にほめたたえるというか、「すごい

な」という感想をもって見ていたという報告を受けております。
八斗教育指導課長 ありがとうございます。今いただいた話、成果を、学校だけではなく、保護者へも還元していきたいと思います。

鶴岡教育長 総じて教員が教える授業から、子どもたち同士で授業をやるという方向にどんどんシフトチェンジしていたなというのが、本当に明らかに見える、そんな授業ばかりでした。

8 その他

令和7年第1回定例会は、令和7年1月24日 金曜日 午後2時からとした。

9 閉会

鶴岡教育長より閉会を宣言